



いいで町

202号

議会だより

児童が増えて大盛り上がり！



本年度統合の第二小運動会

6月定例議会



携帯・スマホからアクセス！

6月定例議会・臨時議会	P 2～3
町政を問う7名の一般質問	P 4～7
常任委員会	P 8～9
特集 遊休公共施設を考える	P 10
第三セクター決算報告	P 11
町民からのメッセージ	P 12

地球温暖化防止事業 物価高騰分5%加算に 4月臨時議会、6月定例議会 補正予算等の概要

一般会計補正予算は（第1号）4千385万円、（第2号）7千44万円、（第3号）1千743万円が追加され総額81億2千424万円となりました。

4月臨時会 一般会計補正予算（第1号）（歳出）

- ・地域農業構造転換支援事業費補助金 4339万円
（農業機械購入補助）
- ・商業振興事業業務委託 46万円
（セルカに係る不動産鑑定業務委託）

この案件は、セルカに係る不動産鑑定だが、閉店の経緯、高齢者の買い物動向など役場内で議論が不足していることから、課題が解決するまで執行留保※とした。

6月定例会 一般会計補正予算（第2号）の主なもの（歳出）

- ・人事異動に伴う人件費の調整
- ・中部地区まちづくりセンター屋根修繕 297万円
- ・デマンド交通再編検討 307万円
（交通空白地域解消のための業務委託）
- ・国民年金システム改修業務委託 170万円
- ・地球温暖化防止事業 3196万円
（物価高騰による補助金の5%加算分）
- ・畜産生産持続強化支援事業 768万円
（酪農機械導入助成）
- ・どんでん平ゆり園遊具塗装修繕等 84万円

一般会計補正予算（第3号）の主なもの（歳出）

- ・地域農業構造転換支援事業 512万円
- ・新規就農者チャレンジ事業 1126万円

※付帯決議による執行留保

予算案や条例案などを議決する際に、意見や要望を併せて表明する決議です。議会からの意見が整理されてから予算を執行する約束事です。

令和8年4月臨時議会は4月22日開催され、5件の専決処分の承認、新たな財産の取得1件及び一般会計補正予算が上程され、付帯決議を付して可決決定しました。（詳細は赤のかこみ）

6月定例議会は6月4日〜12日までの9日間開催され、一般質問は7名から、その他諸般の報告、行政報告、公有財産の取得、町総合計画の一部変更、繰越明許計算書の報告4件、各会計補正予算7件が上程され原案のとおり可決決定いたしました。第7日目の総務文教・産業厚生各常任委員会では所管事務調査が行われ、最終日の12日には追加提案の一般会計補正予算（第3号）等が上程され、原案のとおり可決決定し閉会しました。

表紙の説明
にぎやかな運動会

添川小、手ノ子小、第二小の3校統合後初の運動会が6月13日(土)に開催されました。
(12ページに関連記事)

条例・契約・決算・報告・人事

(4月22日臨時議会) 原案のとおり可決・承認。

- R7年度西高峰橋架替工事（下部工）
請負契約変更の専決処分の承認
- 町道大平線道路災害復旧事業
請負契約変更の専決処分の承認
- 一般会計補正予算（第15号）
専決処分の承認
- 町税条例の一部を改正する条例の制定
についての専決処分
- 国保税の一部を改正する条例の制定に
ついての専決処分
- ローター除雪車1台
契約額 6799万円
契約先 寒河江重車両(株)南陽営業所
納入期限 R8.11.20

(6月定例議会) 原案のとおり可決・決定。

- 公有財産の取得について（R8年度
軽4輪小型動力ポンプ付積載車購入事
業）（消防車）
- 第5次飯豊町総合計画の一部変更

報 告

- R7年度土地開発公社会計決算状況報告
- R7年度一般会計・上・下水道事業繰
越明許計算書の報告

人 事

- 固定資産評価審査委員会委員
(任期 R8.6.20~R11.6.19)
渡部恵介
- 農業委員
(任期 R8.7.20~R11.7.19)
(中津川)伊藤幸雄 (中)長岡賢市
(高峰)寒河江正明 (椿)齋藤祐一
(添川)遠藤智行 (小白川)高橋賢治
(黒沢)渡部由美子 (萩生)嶋貴正昭
(中)渡部晃子 (萩生)後藤恵美子

6月定例議会補正予算等の主な質疑

横山議員 小学生白川湖
力又一体験に係る使用料
はなにか。

松山議員 総合計画のJ
R米坂線復旧で、客車に
貨車も加えれば国の関与
があるのではないか。

教育総務課長 5・6年
生を対象に88名分と随
員。費用は小学生@50
00円、大人7000円。
11月までに実施する予定。

企画課長 そのようなこ
とも含め、沿線自治体と
協議している。

遠藤(純)議員 財務会計
システム負担金追加の内
容はなにか。

遠藤(芳)議員 町総合計
画の中間点の見直しは表
現の変更には留まっている。
事業を点検し目標値に近
づけるための見直しでな
いか。

企画課長 支払い方法変
更に伴いシステム更新を
行うもの。

企画課長 文言の修正が
主で成果目標は変更して
いない。目標に向かって
努力していきたい。

高橋(勝)議員 総合計画
一部変更について、地区
別計画が前期と変わって
いないがなぜか。

菅野議員 農業法人は、
農業センサス、経済セン
サスの両方提出しなけれ
ばならない決まりか。

企画課長 今後取りま
めを行い次期見直しに反
映させたい。

企画課長 両方の提出が
必要である。

一般質問 町政を問う 7人の議員が質問に立つ

議席番号	氏名	質問事項 (★は本文に記載、☆は未記載)	ページ
1	横山 清彦 議員	★本町における高齢者の買い物支援について ★小中学校の防犯対策について	P 4下
4	高橋 勝 議員	★バイオガス発電に伴う課題への対応は。 ★人口減少時代における町政運営と校名再検討の結果は。 ☆地域づくりから地域運営へ。「地域で暮らし続ける未来計画」の作成を。	P 5上
6	松山 和好 議員	★金融機関や町外の企業に対して従順なのは飯豊町の体質なのか	P 5下
7	遠藤 芳昭 議員	★ふるさと納税について ☆事前協議等の企画調整機能について ☆米坂線復興の現状について	P 6上
5	舟山 政男 議員	★飯豊町農業振興協議会との話し合い ★今後の米づくり農業への取り組みについて	P 6下
3	遠藤 純雄 議員	★和牛肥育経営の危機に対する本町の支援と産地維持戦略について ★飯豊町脱炭素先行地域づくり事業の妥当性と持続可能性について	P 7上
2	島貫 寿雄 議員	★嵐町長の政治信条、意思決定の際の重要ポイントとは。 ★教育現場で問題が起きた時の教育委員会の対応基準について。	P 7下

一般質問は質問した議員が自らの責任で執筆しています。

知れば得する議会の基本「一般質問について」



録画中継を見ることが出来ます

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関（自治体の長や委員会）に対して、行政全般（公共事務、行政事務の一切を含む）について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

高齢者の買い物支援 小中学校の防犯対策

町長

高齢者が安心して生活できる
環境整備に努める

質問 高齢者の買い物支援 については

町長 本町の人口に対する65歳以上の高齢者の割合は41パーセントを超えている状況の中、家用車を運転しない、あるいは運転が困難な高齢者のために日常の買い物支援が必要ではないか。

町長 令和7年10月末にスーパリーの閉店以降の対策として商工会の駐車場を利用して民間業者2社による移動販売を毎週金曜日に実施している。ほほえみカーは町内であればどこでも乗降可能で料金も安価で運航しているので利用してほしい。

質問 移動販売の現状 を周知して多くの方に 利用してもらえよう

町長 周知に努め、商工会と調整する。「スーパークとくし丸」は、エリアの問題で困難な状況だが、情報収集に努めて検討したい。

質問 不審者の侵入や 登下校時の子供を狙った た事が発生している が本町の防犯対策は。

町長 安全確保に向けて施設管理、防犯カメラによる来訪者のチェックを行い、危機管理マニュアルを整備し、訓練を実施している。



移動販売の様子



よこやま きよひこ
横山 清彦 議員

トラック搬入型発電所 運搬に支障はないのか

町長

道路改良が必要な箇所と
考えている

正式決定の発表がない

質問 脱炭素先行地域

事業のバイオガス発電所については、未だに建設場所決定の発表がないが、現在の状況は、

町長 事業者からは、既存の発電施設がある眺山を有力候補地とする意向が示されている。

再質問 場所確定は、

「住民の理解と同意が得られてから」とのことだが、どこの誰に同意を得ることになるのか。また、住民説明会と現地視察を予定しているが、いつの開催か。
町長 眺山環境保全協議会で賛否を問うことになる(同意を得たい)。



町道飯豊川西線牛小坂付近

説明会と現地視察は、6月下旬の予定で、東部地区への全戸配布でお知らせする。

再質問 発電所2号

機は、トラック搬入型となっており、現在の道路は直角カーブの急勾配で、スムーズに運行されるか心配される。道路改良も含め、事業者と協議を。



たかはしまさる 議員
高橋 勝

町長 以前から、道路改良の要望がある場所でもあり、改良が必要な箇所と考えている。

校名再検討の結果は

質問

昨年12月に町は、校名再検討を行う旨を表明し、町民のお考えを募ることにした。結果と今後の進め方は、

町長 37件の意見が寄せられ、総合教育会議

で審議した結果、校名(いいでの森学園)変更に値する明確な根拠が見いだせないとし、継続して検討していきたいと考えている。

金融機関や町外の企業に対して 従順なのは飯豊町の体質なのか

町長

誘致企業の撤退に対する
雇用の創出のため

町の姿勢は逆ではないのか

質問 当初の借主と契約

もしないままに着工した貸工場、企画立案から施設の運営まで一貫して請け負うという不思議なフォレスト

いで計画、飯豊産米を九州の事業者が行うというふるさと納税返礼品配布事業等が続いている。外部の金融機関

や事業者には付度するという体質が有るのではないか。

町長 決してそのような

ことは無い。前町長のころでもそのような事はなかったと考える。常に対等な立場で対処している。



まつやまかずよし 議員
松山 和好



現在のフォレストいいで

公務員は責任を負わなくても良いのか

質問 例えば契約書も

なしで20数億円の工場を作って、引き取りを拒否されて素直に引き下がるのでは、町民の生命と財産を守るべき自治体ではないのではないか。

その根底にあるもの

は公務員だから責任を負わなくても良いという意識があるのではないか。過去には市長が個人で2億5千万円の損害賠償請求された判例もあるが。

町長 決してそのような事はない。公金を動かしているという事で各自それぞれの場所

で責任をもって仕事をしている。答弁書についても課長をはじめ職員とよく協議をしたうえでのもので間違いはないと思う。

ふるさと納税コメ誤送 本年度も同業者は適正か

町長

処分は10月1日以降に判断する

●コメ問題のその後

コンサルの処分は

昨年、ふるさと納税返礼品となる米を、町から運ぶ前に九州産のコメを送った問題で、町長と副町長が減給処分したが、仲介を委託した業者の処分はどうしたのか。

総務省判断による

町長 令和8年度のふるさと納税の総務省の認可が10月1日に示される。総務省判断をもとに町として処分の有無を判断したい。

特定の業者ありきか

質問 3月議会では年度内は契約期間であり、



えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員

指名に異論なし

断以前であり、委員会で異論はなかったのか。

総務課長 問題が発生

した同じ業者がいろいろかどうかの議論はあったが、総合的に書類審査をした結果、本業者は適正であると判断した。

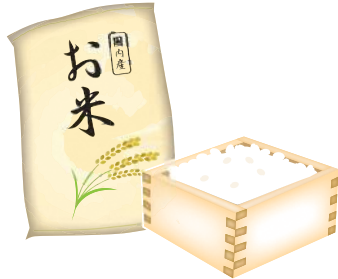
R7とR8は別事業

町長 処分は令和7年度の分と考える。令和7年度の処分と令和8年度の委託は別に切り扱うので、現時点の事務処理は問題ない。

役場内での議論は？

質問 町長は「契約期間後に処分を判断する」としていたが、3月23日の指名審査委員

会で同業者への委託を承諾している。処分判



町農業振興協議会と 米づくり農業の課題は

町長

農業振興協議会と連携し
持続できる農業振興に取り組む

稲作農業の現状は

質問 本町の主幹産業である稲作農業の現状と課題は。

厳しい経営環境

町長 農業従事者の高齢化や担い手不足、肥料や燃油、資材価格の高騰、農業機械更新に伴う負担増、さらには、高温障害や異常気象など、農業経営を取り巻く環境は大変厳しいと認識している。

農業振興協議会活動

質問 町農業振興協議会の活動はどのようになっているか。

将来農業を検討協議



ふなやま まさお 舟山 政男 議員

町長 農業振興協議会では認定農業者や生産組合、土地改良区などと将来の地域農業や農地の維持等について協議している。また、農地集積・集約化、スマート農業機械の導入、交付金を活用した地域活動支援、ブランド米販売強化等の農業振興に取り組んでいく。

条件不利地の稲作は

質問 今後、条件不利地の米づくりをどのように支えていくか。

実状に応じ支援する

町長 稲作条件不利地は、小区画で傾斜地が多く、作業効率が低下する。鳥獣被害や高齢



山間部の条件不利地の水田

化等により農地維持が困難な地域もあるが、国・県の制度を活用し農地保全活動を支援してきた。今後も農業機械導入や作業受委託、地域営農組織の維持など、地域の実情に応じた支援を行う。

和牛肥育の支援、脱炭素 先行地域事業の進捗は

町長

必要な支援策を検討する

**和牛肥育の経営危機に
対する町の支援**

質問 米沢牛の主産地である本町の和牛肥育農家は、飼料価格の高止まりや子牛価格の上昇、牛肉消費の伸び悩みから1頭当たり平均で15万円の赤字となっている。町の支援や中長期的な戦略をどのように考えているのか。

町長 子牛が高く、販売価格が追いつかないことは認識している。本町は米沢牛の主産地として高品質な和牛を生産してきており、この生産基盤と技術を次世代に継承していくことを使命として考えている。これまでも素飼



えんどう すみお 議員
遠藤 純雄

料等高騰対策、生産資材高騰緊急対策資金などの支援を行ってきたが、今後に必要な支援策を検討していきたい。

**脱炭素先行地域づくり
事業の現在の状況**

質問 今年度から取り組む脱炭素先行地域づくり事業の進捗状況は

町長 バイオガス発電所の候補地は既存のバイオガス発電所の周辺を検討している。今後、東部地区住民の説明会と現地視察を開催し、合意を得たいと思っている。小水力発電は小



生産費が高騰している飯豊産米沢牛

嵐町長の政治信条、意思決 定の際の重要ポイント

町長

多角的な視点や客観的な
指標を考慮し判断する

**フォレストいいでへの
判断と基準は**

質問 財政負担、住民ニーズ、緊急性、将来効果どれを最重視か。

町長 様々な要素を複合的に考慮し、メリット・デメリット両面から総合的に判断した。

質問 「フォレストいいで」を無償譲渡方針から一転、10億円規模の改修計画策定への経過は。

町長 「白川流域まるごと構想」は水没林を中心とした観光需要の高まり「地域未来交付金」等の国の財源活用と町の財政負担、ホテル運営連携事業者の有無、町内全域への波及



しまぬき ひさお 議員
島貫 寿雄

効果などを考慮し今が
適当と判断した。

質問 議会が関連予算を否決した後に、国の「地域未来交付金」が採択された経過は。

町長 一般的に、国や県の交付金や補助金は、そのスケジュールに従い申請する。次年度の補助金は前年度に申請する。次年度の予算可決と申請及び採択の時期が前後することは珍しくない。議会を軽視していない。

再質問 記録的な建設費の高騰の現在、計画を止めて補助金の申請を取り下げる選択肢は。

町長 改修費の見直しはあっても補助金の取

り下げは考えていない。
教育現場で問題が起きた時の教育委員会の対応基準は

質問 問題発生時の最優先する判断基準は。

教育長 子どもを含めた「人」の安全・安心の確保が最優先。大切なのは子どもを真ん中におき、関係者の思いを汲み取り、対応は客観的な事実に基づき丁寧に行う。

質問 問題を隠さない現場の仕組みは。

教育長 教育委員会への早期報告等、相談を重視し、対応している。

5年間で742人減少

令和7年度 国勢調査の人口速報集計公表

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

◆令和7年度国勢調査集計公表

飯豊町の人口及び世帯数
「速報値」
人口 5,871人
世帯数 2,050世帯

令和7年度国勢調査速報集計内容

山形県 (前回は令和2年度に実施)		
①人口	993,127人 (1,008,627人) (男 482,096人 女 511,031人)	▲74,900人 (▲7.0%)
②世帯数	398,213世帯 (398,015世帯)	+198世帯
飯豊町 (前回は令和2年度に実施)		
①人口	5,871人 (6,613人) (男2,883人 女2,988人)	▲742人 (▲11.2%)
②世帯数	2,050世帯 (2,125世帯)	▲75世帯 (▲3.5%)
③1世帯あたり	2.86人 (3.11人)	

◆日本で最も美しい村連合 東北ブロック会議総会及び視察研修
日時 7月9日(木)～10日
場所 飯豊町中部まちづくりセンターほか
町内視察場所
10町村が参加

◆第65回東京飯豊会

日時 7月26日(日)
場所 アートホテル日暮里ランゲウッド (東京都内)

◆令和8年度飯豊町総合防災訓練について

日時 11月8日(日) 午前7時～
場所 第二小学校

◆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金限度額 6,004千円

推奨メニュー(生活者支援、事業者支援)をベースとして、地域の実情に合わせて実施計画を作成し、事業実施予定 (総務課)

◆令和8年度飯豊町営英会話教室「ジャンプ」のご案内
ALITによる英会話教室を実施することにより、町内児童の外国語や外国語の文化に対する関心を促すとともに学ぶ楽しさを実感し、学び続けようとする姿勢を育てる。対象は町内小学校1～6年生及びその保護者 (教育総務課)

◆令和8年度 飯豊町二十歳の集い

日時 8月15日(土)
場所 町民総合センター (社会教育課)

主な質問と答弁

●まちづくり計画の見直し、再点検が必要では

遠藤(芳)委員 令和7年の国勢調査の速報値が出た。本町の人口は5871人、この5年間で742人減少している。今

後も様々なまちづくり計画の見直しが必要では。町長 危機感としてはある。どの計画にも次期計画の策定業務があるので、人口減少を踏まえた見直しを行っていく。また、人口減少に対応する事業があるとするれば事業展開していきたい。

企画課長

来年度よりふるさと住民登録制度に関するさと住民登録制度で関係人口を増やしていく取り組みをしていく。

●自転車の交通ルール

屋嶋委員 自転車交通違反の反則切符制度にともない町内の歩行者専用と自転車通行可能歩道の把握と町民への周知が必要では。

住民課長

町内歩道の把握調査を関係機関と進め今後、町民へ周知していく。

●職員採用

菅野委員 土木技術職員の採用に向けての取り組みは。

総務財政室長 高校生向けのチラシの作成、求人サイトの活用を検討。

●プール一般開放

高橋(亨)委員 今年も猛暑日が予想されるが安全対策と監視員の人数は社会教育課長 小学校の夏休み期間午前8時～11時まで、16時～17時半までとし監視員3名で対応する。

●脱炭素事業

松山委員 脱炭素事業は脱炭素の効果があるのか。脱炭素推進課長 脱炭素先行地域事業の計画に基づいて、今後とも説明していきたい。

●消防団員の防寒着

横山委員 冬期間着用の防寒着の整備の進捗は。総務課長 国の補助金を活用し順次整備する。

今年もあ～すで開催 黒べこまつり

第38回いいで黒べこまつり

いいで産牛肉消費拡大事業

産業厚生常任委員会

主な質問と答弁



昨年の黒べこまつり

ついて協議することを覚書に加えるものです。

●熊対策について

屋嶋委員 近年熊の出没が多く、猟友会のメンバーに負担をかけている。そこで、ガバメントハンターの育成が必要と思うが、考えは。

農林振興課長 近隣市町村の状況を見極めて、今後検討していきたい。

●道路整備計画について

舟山委員 町の道路整備計画は。

地域整備課長 飯豊町道路整備計画第3次飯豊道プランがあり、災害復旧を優先したことから計画が遅れているが、事業項目のプランは変わりなく、現在見直し中である。

座談会などで新設についての要望が出ており整備計画に挙げている。

●菅野委員

町道南館深淵線の工事が進まず、吉長寺南館線となりつつある。路線名が変わる状況にあるが、進捗状況は。

●島貫委員

町民の間からも商工会に加盟していない企業を参加させては地域にお金が回らないとの声がある。イラン情勢の影響で景気悪化の現在その点はどう考えているか。

●健康福祉課長

取り扱いは同じ仕組みを考えている。

●島貫委員

町民の間から

●地域整備課長

道路整備計画の中では整備の上位にはなく、路線名に変更はない。

●高橋(亨)委員

冬の除雪等で破損された箇所があり、中で未だに修繕されていない箇所がある。

道路標識、ガードレール、マンホールの不た等だが、業者への対応はどうなっているのか。

●地域整備課長

除雪業者には保険に加入してもらっており、その都度原型復旧している。毎年4月に意見交換会を行い、オペレーターのエデュケーションをお願している。

●物価高騰対策事業

島貫委員 「高齢者元気生活応援商品券」は、現在の物価高騰対策生活支援商品券と同様に町外資本のチェーン店も使える様にするのか。

●健康福祉課長

取り扱いは同じ仕組みを考えている。

●島貫委員

町民の間から

も商工会に加盟していない企業を参加させては地域にお金が回らないとの声がある。イラン情勢の影響で景気悪化の現在その点はどう考えているか。

●健康福祉課長

商工会加盟店だけでなく地域の住民を支える様々な事業所で使用できることが高齢者の支援と考えた。

各課からの主な報告

◆「いいで黒べこまつり」の開催について

開催日 7月5日(日)11時会場 あ～す駐車場
前売り券 ファミリーセツトのみ15,000円

◆「林道飯豊松枝岐線冬季間閉鎖解除」

6月1日より通行可能
(農林振興課)

◆水道事業広域化について

水道事業の統合に向けた協議に関する覚書締結式
令和8年7月13日(月)

△協議事項▽

水道基盤強化計画策定

統合準備協議会設置

事業広域化基本計画

経費の負担に関する事

◆白川湖の水没林状況

(地域整備課)

○来訪者状況

54, 867名

・ピーク5月5日

4, 194名

今年度は情報発信が功を奏し来訪がGWに突出せず、渋滞対応効果もあり、前年費30%の消費増もあった。

来訪者 町内7%、県内41%、その他52%

◆高齢者元気生活応援商品券配布事業

(商工観光課)

対象者…令和8年7月1日時点で満65歳以上の方2,556名

支給方法…世帯員分支給

支給額…一人当たり5,000円

(健康福祉課)

水道事業の統合に向けた協議に関する覚書締結式

令和8年7月13日(月)

町民の間から

取り扱いは同じ仕組みを考えている。

健康福祉課長

島貫委員

町民の間から

健康福祉課長

島貫委員

町民の間から

健康福祉課長

島貫委員

増加する遊休公共施設 利活用の議論を加速

◎遊休公共施設とは・・・

町が保有する公共施設で、本来の利用目的で活用されないまま放置されている建物や設備のことです。

◎増加することによる主な影響は・・・

使われないままの建物は、維持管理コストや解体費用の負担などが自治体の財政を圧迫し、放置すれば老朽化による防災・防犯上のリスクや景観の悪化を招きます。一方で、民間資本やアイデアを取り入れて地域の活性化や新たな価値を創出する可能性もあります。



施設名と建設年度	建設年度
・中津川小学校	1978年
・下屋地	1978年
・中津川中学校	1997年
・下屋地	1997年
・手ノ子幼稚園	1990年
・手ノ子小学校	1980年
・添川小学校	1983年
・添川	1983年
・コミュニティセンター	1974年
・萩生	1974年



・岳谷分校
岩倉 1948年



資料庫で使用中

・農村環境改善センター
手ノ子 1980年



物品庫で使用中

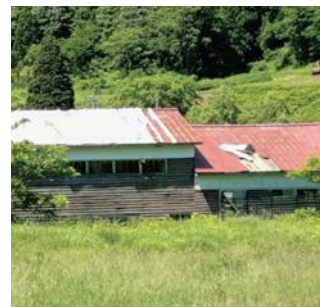
・青年研修所
椿 1978年



・とよさと荘
須郷 1976年



・ホテルフォレスト
いいで 須郷 1998年



・小屋分校
小屋 1962年

◎今後の対応は・・・

町は、遊休公共施設の増加が、町政運営の課題であると認識しており、基本方針の考え方（町及び地域での利活用を優先的に検討し、町・地域での利活用が見込めない場合は一般公募）、地域資源を活かした利活用やアイデアについて議会との協議の場を設けていきたいと考えている。（3月定例会総括質疑より）議会としても問題意識を持って、あらゆる提案を町に行っていきたい。

諸物価・人件費高騰に対応した1年間

各社経営改善に努力

令和7年度

第三セクター決算報告書

飯豊めざみの里株式会社

単位：万円

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	7億6432	8億1214	8億2855
売上原価	4億9465	5億2244	5億2526
販売費一般管理費	2億6266	2億7612	2億8814
当期収益	1046	432	1354
繰越損益	▲2978	▲2545	▲1191

指定管理料及び委託料 2116万円

施設全体の来館客数 延べ100万人に迫る

来館客数は物産館約68万人、コンビニ約26万人、道路情報館を含めると100万人に迫っている。物産館ではコメ不足の中、町内産米を確保し、低価格での販売に貢献した。インバウンドの昼食やいちご狩り、コンビニの立地条件が功を奏し、集客や売上が順調に伸び3年連続の黒字となった。

有限会社どんでん平ゆり園

単位：万円

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	3700	4297	4862
売上原価	1105	1299	1131
販売費一般管理費	2636	2624	2675
当期収益	38	375	163
繰越損益	▲679	▲304	▲141

指定管理料及び委託料 2285万円

37日間の営業中 入園料減額期間は21日

営業日数は37日間だったが、6月は曇りや雨、7月は猛暑日が多く前年比5,300人減の17,126人であった。このため純粋な入場券売上は840万円(前年比246万円の減)となった。その他営業利益を含む今季純利益は163万円の黒字となった。なお、令和8年度からは町直営管理となっている。

飯豊町地域振興公社

単位：万円

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	3億6211	3億7050	3億8213
売上原価	7983	8182	8128
販売費一般管理費	2億9015	3億1011	2億9512
当期収益	▲528	▲1771	1087
繰越損益	▲1億5512	▲1億7283	▲1億6197

指定管理料及び委託料 1億2166万円

厳しい経営でも利用者は増加

当期収益は黒字となっているが、昨年12月議会において過去2年分の物価・人件費高騰に伴う指定管理料約3千万円を追加交付している。しらさぎ荘では宿泊が前年比71%と低下したが、温泉・宴会等は前年同程度であった。白川荘はダム道路の通行止めや猛暑・大雪・クマ出没等の中、年間売上前年比98.6%を確保した。飯豊少年自然の家は、親子行事利用が増え延べ利用者数が1,246人(前年度比102.1%)であった。

有限会社エルベ

単位：万円

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	3167	3353	3924
売上原価	1078	1125	1100
販売費一般管理費	2334	2349	2328
当期収益	▲259	▲137	289
繰越損益	▲1951	▲2088	▲1799

指定管理料及び委託料 1180万円

来店者数1万4千人 物価高騰支援により黒字確保

近年続く原材料や高熱水費の価格高騰に対し指定管理料の追加交付(702万円)もあり、収益は前期比426万円の増加となった。新年度についてはランチタイムのサラダバーやドリンクバーを再開。ハーブ園を再整備しそれらを活用したメニューの開発を行う。

町民からのメッセージ「私からひと言」

〈添川小、手ノ子小、第二小が一緒になって〉

第9回

第二小PTA副会長 石井 豪 さん (添川)



石井さん 最初のころは戸惑っていた様子が見えましたが、今では家に帰ってくると「新しい友達ができた。」

統合後の子どもさんの様子は

石井さん 今日の様子を見ると子ども同士の連帯感や競い合いなども見られて良かったと思います。そのなかでも応援合戦や団体競技の真剣さには私たちが熱くなりました。

3校統合した初の運動会ですが感想は

議会だよりでは町民の皆様の率直なお気持ちの紹介と、議会に対しての意見等を紹介しています。今回は、添川小、手ノ子小、第二小の統合後の最初の運動会に応援に来られた保護者の石井さんにお話しをうかがいました。(編集 松山)

今後の学校に期待することは

と学校に行くのがとても楽しいようです。

石井さん 統合前にはせいぜい松原の友達に行く程度だったと思います。それが統合後は以前で言うところの校区外の友達の家に行きやすくなりました。

今の時代は自分たちの頃とは違い様々な危険があるため、学校では放課後の行動について、ある程度のルールを作る必要があるとお聞きしています。これからは伸び伸びとした生活を過ごしてもらいたいと思います。



※議会だよりの感想や議会への自由なご意見をお聞かせください。

取材を終えて



走るほうも見るほうも一体

これまでの学校環境の変化に、当の児童たちが順応できるか心配されましたが、運動会を観戦させていただいて、どうやら案ずるより生むが易しだったようです。このまま健やかに育ってほしいと思います。

議会定例会の傍聴をお待ちしています。

次回の定例会開催は9月8日(火)からの予定です。

インターネットからでも見ることができます。議会のホームページでご確認ください。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

編集後記

お詫びと訂正 先の201号で、15ページ 廃校利用に向けて(企画課)の文章中のNPO法人の名称は、正しくは『Mezamor i i i d e』です。関係者と読者の皆様におわび申し上げます。

4月1日に始まった令和8年度は早くも3か月が過ぎました。早い桜の開花に驚き、5月は異例の暑さに小言を言いつつも水田はいつの間にか田植えもおわり、今まさに成長真っ只中。一方こんな当たり前の、穏やかな平和が得られない国もあるということを感じたいものです。最近、世界では何かと物騒になってきた様に感じられます。事件だけでなく、新たな法律さえも気になる今日この頃、飯豊町は平和でありたいものです。(松山記)

発行責任者	議長	発行	副委員長	委員	委員	委員	委員
屋嶋 雅一	松山 純	高橋 勝	遠藤 芳昭	横山 清彦	島貫 寿雄	松山 和好	遠藤 純雄